



▲店頭で自慢の商品を紹介する金成勝弘代表

に遭ったいわき市で、復興への道を歩みはじめた施設や人々にスポットを当てます。
今回は、いわき市観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」の再オープン（十一月二十五日）を機に出店した、「カナリシーフーズ」の金成勝弘代表と、七月十五日に再オープンを果たした環境水族館「アクアマリンふくしま」をご紹介します。次号では、十月から一部営業をスタートさせ、二月八日にグランドオープンを迎える「スパリゾートハワイアンズ」を紹介することとしています。

お客さまの満足のために良いものをより安く提供

南からの黒潮と北からの親潮が出合う潮目になっていることから、良い漁場に恵まれた福島県沿岸。いわき市周辺では、サンマやカツオ、マグロなどを獲る沖合漁業が盛んです。

「カナリシーフーズ」の金成勝弘さんの実家は、小名浜で八十年続いたかまぼこの加工卸会社「金成食品工業」。

金成さんは四代目で、宮城県石巻市で六年間修業を積んだ



がんばってます！浜通り地方

復興に向けて再出発した、いわき市の観光施設

福島県浜通り地方。地震、津波、原発事故、それに伴う風評被害と東日本大震災の影響を多大に受けている地域です。いまだ故郷を離れ避難生活を送られている方々がいる一方で、被災しながらも故郷の復興に向けて積極的に活動を行っている方々もいます。

『ひろば』では二号にわたり、三月十一日の大震災に加え、四月十一日に起きた直下型地震によって更なる被害



▲いわき市観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」外観



▲金成食品工業創設当時の屋号をバックに

ユウ』です。しかも、お客さんと対面し直接販売ができるので入居を決めました」。

以前は観光客が多く、年間約二百万人が訪れていたという同施設。震災後の再オープンでは、子ども連れの買い物客に嬉しい広い屋内遊び場を設けるなど、観光のみでなく地元をに向けた施設展開が見られます。その新生「いわき・ら・ら・ミュウ」に、金成さんは実家の金成食品工業創業当時の屋号「ウロコジユウ」で出店しました。「地元の人間が地元で獲れた魚を捌いて、地元のお客さんが買ってくれる。

地元応援です」。良いものを安く提供したい、という金成さんの思いは施設市場内の他店の人たちにも伝わっています。「他の店にもうちの商品を卸していますが、売値が高くなり過ぎないように願っています」

ウロコジユウでは、干物はもちろん、イクラなどの魚卵、マグロの刺身など様々な魚介類が店頭に並びます。無添加のいかの塩辛や、本醸造と三温糖で漬けたさんまみりん干しはリピーターが多いといえます。ウロコジユウの商品は、出荷制限や摂取制限のない市場で流通された原料が使用さ

後、水産加工会社「カナリシーフーズ」を立ち上げるとともに実家を継ぎ、かまぼこと干物の加工を中心に行っていました。また、カナリシーフーズとして、クロカジキを使用した「クロカジキバーガー」や、鰯のすり身を使った「小名浜ロール」などご当地グルメを考案。イベントなどに来店しては好評を得ていました。しかし今回の震災で実家の工場は大打撃、閉鎖を余儀なくされました。

「被害は大きかったです。震災をきっかけに考えたこともあります。今までは加工して商品を市場やスーパーに卸すところまででしたが、これからは直売にしよう。せっかく自信を持って商品を卸しても、卸値の二倍で売られてはお客さんに買ってもらえない。それなら直売で一・二〜一・五倍と少しでも安く提供する方がお客さんのためになると確信したんです」と金成さん。全国各地のイベントに出店し、直接販売する機会も多かった金成さんは「お客さんが自分たちの商品を食べて喜んでくれることが励みになります。だから、イベントで商品を気に入ってくれたお客さんから『福島に来た際同じものを購入しようとしたら高く驚いた』と聞かされた時は悔しかったですね」と振り返ります。そうした体験もあり、イベント出店時のみの付き合いで終わることのないよう、顔の見える直接販売を決断しました。「いわき市内で水産物を買うなら、やはり『いわき・ら・ら・ミ



▲アクアマリンふくしま地域交流課主事の金成美枝さん

も大きかったそうです。

「この辺りは地盤沈下もひどかったんです。水族館の外溝は七十〜百センチも沈下してしまつて……。工事は六月までかかり、その後水を抜いてから掃除をするという段取りで作業が行われました。施設の復旧はまだ先でしたが、六月からは移動水族館を再開。いわき市内の小学校や、福島市のあずま総合運動公園などを回り、ヒトデやナマコなどのタッチプールや、生き物の剥製や標本に触れたり見たりできる体験コーナーを設け、子どもたちに楽しんでもらいました。復旧作業も着々と進み、生き物たちも徐々に帰館。「現状で飼育が

無事避難していただくことができたことは本当に良かったです。職員たちも皆無事でした」。同館地域交流課主事の金成美枝さんが、当日の様子を振り返り話してくれました。生き物たちの避難については、県外の水族館や動物園などに協力を依頼。搬出された生物は三十九種二百二十七点になります。「四月に、千葉県の鴨川シーワールドに避難中のゴマフアザラシが出産したんですよ」と金成さん。厳しい状況下での嬉しいニュースに喜び

様々な支援と職員の踏ん張りで生き物たちが戻った水族館

れています。放射線量を気にするお客さまがいることも事実です。「仕方ないですが、うちは信用して買ってくれるお客さんがいる限り、その信頼に答えるためこれからも良いものを提供するのみです」。そう話す金成さんは、顧客満足の店一番になることを目指すことで地元を元気にし、いわきの復興につなげようとしています。

「いわき・ら・ら・ミュウ」から程近い場所に建つ「アクアマリンふくしま」も、東日本大震災で津波の被害を受け、施設の一階と電気系統の設備が集中していた地下が浸水しました。電気設備が壊滅状態となったため、水槽に酸素を供給することも、ろ過循環や水温維持もできなくなり、多くの飼育生物が死滅したといえます。特に被害が大きかったのが、飼育研究や希少水生生物の保全に関する調査研究を行う水生生物保全センター。津波により施設全体が水没し、生物は全滅しました。「地震発生時、館内にいらしたお客さま全員に、



▲「いわき・ら・ら・ミュウ」屋上から「アクアマリンふくしま」を臨む

可能なものから少しずつ。最初に戻ってきたのは、新潟県のマリnpia日本海に避難していたメヒカリでした」と金成さん。子どもと一緒に戻ってきたゴマファザラシは、水族館で今一番の人気者です。アクアマリンふくしまが誇る大水槽「潮目の水槽」の補修が完了すると、生き物たちの帰館はさらに加速しました。



▲アクアマリンふくしま本館入口

そうして七月十五日に再オープン。「ほとんどが他の水族館などから支援していただいた生き物です。その意味で新しい生き物を観察できる楽しみがあると思いますよ」。同館では再オープンを機に、より参加型の要素を取り入れ、子どもたちが体験できるコーナーやイベントなどの充実を図りました。津波で水槽ごと流失した、別館の「アクアマリンうおのぞき」（子ども漁業博物館）も復活。海砂を使用した屋内砂場や、漁具に似せた遊具で遊びながら漁業に親しむことができる子ども広場、タッチプール、魚のエサやりなど様々な体験ができます。メヒカリやアジなど干物の炭火焼き体験もあり、大人も一緒に楽しめます。

同館には、里の水辺環境や干潟・磯・砂浜の環境を再現した屋外施設もありますが、「やはり放射線を気にされ、屋外で遊ぶ方は少ないかなと思っていた」と震災後の運営を心配していた金成さん。でも、「予想に反して皆さん楽しんでくれて。水着持参で来てくれた方もいました」とのこと。集客は昨年度の三割程度ですが、イベントの開催もあり地元の方を中心に少しずつ増えているアクアマリンふくしま。「県外の方の来館はまだ少ないですね。でも、この震災で全国の子どもたちから応援の手紙がたくさん届いたんですよ」。それらの応援メッセージや手紙は館内に展示されています。

「アクアマリンふくしま」と「いわき・ら・ら・ミュウ」。両施設とも、お客さまが安心して来館できるよう定期的に放射線量を測定しています。アクアマリンふくしまはホームページ上で測定値を公表、いわき・ら・ら・ミュウでは館内掲示板近くにホワイトボードを設置して毎日数値を書き込んでいます（次ページ参照）。この二施設が再オープンしたことで、いわき市小名浜港周辺は少しずつ賑わいを取り戻しつつあります。

●1月のイベントガイド

日時	イベント名	場所	お問い合わせ先
1月6日(金)～ 1月7日(土)	七日堂まいり [郡山市]	如宝寺	如宝寺 Tel: 024-922-0607
1月7日(土)	第13回うねめの里冬火花 [郡山市]	郡山市片平 ふれあいセンター	片平町商会 Tel: 024-951-2602
	磐梯町初市七日市 [磐梯町]	磐梯ショッピング センター (You・ユー)駐車場 [予定]	磐梯町商会 Tel: 0242-73-2144
	へびの御年始 [会津美里町]	高田地域雀林地区	会津美里町本郷インフォ メーションセンター Tel: 0242-56-4637
	七日堂はだかまいり [柳津町]	福満虚空蔵尊圓蔵寺	Tel: 0241-42-2114
1月8日(土)・22日 (土)・29日(日)	あぶくま洞 滝根御殿コンサート	あぶくま洞 滝根御殿	あぶくま洞管理事務所 Tel: 0247-78-2125
開催中～ 1月9日(祝・月)	桑折駅前イルミネーション [桑折町]	J R 東北本線桑折 駅前通り及び駅前 広場ロータリー	追分まちづくり協議会 Tel: 024-582-3379
1月10日(火)	金刀比羅神社例大祭 [いわき市]	いわき市常磐関船 町諏訪下6-3	金刀比羅神社 Tel: 0246-43-1001
	十日市 [会津若松市]	市中心市街地 (神明通り、市役所 通り、中央通り、大 町通り)	十日市実行委員会 (事務局: 会津若松市商店街 連合会) Tel: 0242-37-2789
1月14日(土)	坂下初市大俵引き [会津坂下町]	会津坂下町役場前 メインストリート	会津坂下町観光物産協会 Tel: 0242-83-2111
	奇祭 大俵引き [会津美里町]	高田地域	会津美里町本郷インフォ メーションセンター Tel: 0242-56-4637
開催中～ 1月15日(日)	お小手姫の街光キラメキ物語 ＜パート3＞ [川俣町]	川俣町の 中心市街地	川俣町商会 Tel: 024-566-2377
1月15日(日)	開運舟引きまつり [喜多方市]	喜多方市塩川町 新丁通り・新町通り	塩川初市実行委員会事務局 Tel: 0241-27-3202
	三春だるま市 [三春町]	福島県田村郡三春 町字大町地内「大町 おまつり道路」	産業課観光グループ Tel: 0247-62-3960
1月28日(土)	御田植祭 [棚倉町]	八槻都々古別神社	八槻都々古別神社 Tel: 0247-33-3505
1月29日(日)	スノーバトル in きたあいつ2012 会津若松市	やすらぎ広場ホタ ルの森公園	北会津公民館(ふるさとス ポーツイベント実行委員会) Tel: 0242-58-3111

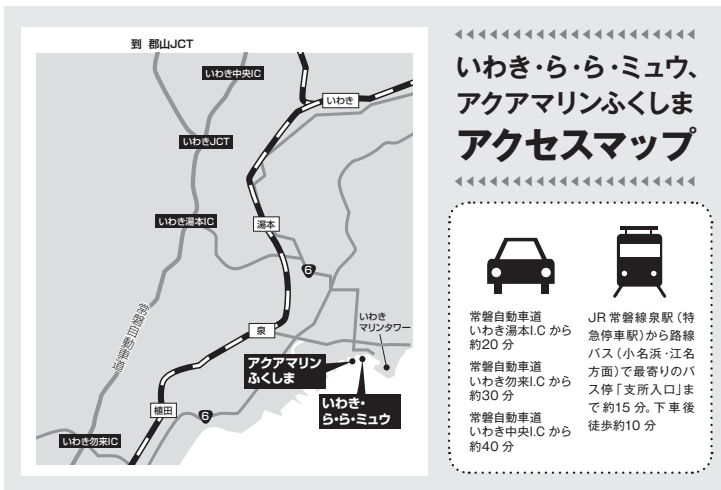
施設周辺の放射線量を測定しています



▲アッカマリンふくしまホームページ



▲いわき・ら・ミュウ
施設内の掲示版



■連絡先

いわき・ら・
ミュウ

福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL 0246-92-3701 FAX 0246-92-3147

アッカマリン
ふくしま

福島県いわき市小名浜字辰巳町50 小名浜2号埠頭
TEL 0246-73-2525 FAX 0246-73-2526